

スーパーエコスクール実証事業：生駒・鹿ノ台中生徒、足踏み発電など提案

毎日新聞 2012年12月26日 地方版

年間エネルギー消費実質ゼロを目指す生駒市立鹿ノ台中（小中一弘校長）のスーパーエコスクール実証事業の第1回ワークショップが、同校で開かれた。生徒代表2人も参加。風が強い地域の特徴を生かしたオリジナル風力発電やミニ水力発電、足踏み発電、燃やすごみの熱利用をアイデアとして出した。

文部科学省の今年度の新規事業（14年度まで3年間）で、全国3校のうちの1校で唯一の中学校。ワークショップ結果を踏まえ、13年度にエコ改修の設計を行い、14年度に工事を実施する。

ワークショップには、岩前篤・近畿大教授（建築学部長）や設計事務所、自治会、保護者代表の他、校長、教頭、教諭代表らが出席した。岩前教授は、鹿ノ台中のエネルギー消費量は一般家庭20～30軒分に相当することや、校舎のエコ改修事例などを説明。「この学校が、地域全体に環境への取り組みを広げる核になるような事業になれば」と話した。【熊谷仁志】